

読売新聞社賞

打球のヒットゾーンを考える

埼玉県 埼玉大学教育学部附属中学校 1年 伊良波 里紗

講 評

自分の部活での経験を基にした問題意識から、ソフトボールのヒットゾーンを求めようとした研究です。打球の捕球位置や送球距離の実測値を用いて、式やグラフを作成しています。そして、その結果をもとにヒットゾーンを数式化し、図示しました。また、結果を振り返って評価し、妥当性を考えたり、実際の試合においては誤差が生まれることやその理由を考察したりしています。こうした自分の経験をもとにした問題意識や導いた結果、考察、振り返りという一連の研究が評価されました。

中央審査委員会